



2019年2月8日

各 位

会 社 名 株式会社ワイレスゲート  
(コード9419：東証第一部)

住 所 東京都品川区東品川2-2-20  
天王洲郵船ビル5階

代表者 代表取締役CEO 池田 武弘  
問合せ 取締役CFO兼CAO 原田 実  
(TEL. 03-6433-2045)

構造改革に係る特別損失及び持分法投資損失の計上、  
並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年12月期第4四半期の連結決算におきまして構造改革に係る特別損失及び持分法投資損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。また、通期連結業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 構造改革に係る特別損失及び持分法投資損失の計上

(1) 損失の内容

当社は、IoT企業への投資を軸として法人向け通信SIMサービスやWi-Fiインフラ事業などのワイヤレス・ビジネスドメイン事業（BtoB事業）の拡大に取り組んで参りましたが、当初策定した計画に遅れが生じており、現在の事業環境を踏まえて事業構造改革に取り組むこととし、より保守的に将来の回収可能性を検討した結果、構造改革に係る特別損失及び持分法投資損失を計上することとしました。

これらの事業構造改革に伴う費用は総額2,200百万円となっております。具体的には、持分法適用会社のフォン・ジャパン株式会社に関するのれん等約1,200百万円を持分法投資損失（営業外損失）として計上、その他ののれん等約1,012百万円を構造改革に係る特別損失として計上します。これにより、2018年12月31日時点において、当社に帰属するのれんの残高はなくなっております。

(2) 業績への影響

下記「2. 平成30年12月期通期連結業績予想の修正（平成30年1月1日～平成30年12月31日）」をご参照ください。

(3) 今後の見通し

ワイヤレス・ビジネスドメイン事業（BtoB事業）は、今後の事業拡大が見込まれる連結子会社である株式会社LTE-Xに主として集約し、今後のさらなる事業拡大を目指します。

フォン・ジャパン株式会社は、これまでのグローバルネットワーク事業に加え、新たな事業買収によりBtoC事業を拡大しており、今後も持続的な成長を目指して参ります。

2. 平成30年12月期通期連結業績予想の修正（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,627	217	74	19	1.90
今回修正予想（B）	11,416	190	△1,084	△2,107	△200.52
増減額（B－A）	△211	△27	△1,158	△2,126	-
増減率（％）	△1.8%	△12.4%	-	-	-
（ご参考）前期実績 （平成29年12月期）	11,830	922	782	461	44.40

業績予想の修正の理由

売上高及び営業利益については、ワイヤレス・ブロードバンド事業（BtoC事業）は、2018年8月13日付「新規販売業務委託契約の締結並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせしております新規販売業務委託契約の締結後、概ね計画どおりに推移しましたが、ワイヤレス・ビジネスドメイン事業（BtoB事業）は計画を下回る見込みです。また、上記「1. 構造改革に係る特別損失及び持分法投資損失の計上」に記載のとおり、過去の投資時に発生したのれん等を構造改革に係る特別損失及び持分法投資損失に計上することといたしました。かかる特別損失及び持分法投資損失の計上を踏まえ、平成30年12月期通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

### 3. 配当予想の修正

	年間配当金（円）				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	-	0.00	-	1.00	1.00
今 回 修 正 予 想	-	0.00	-	0.00	0.00
（ご参考）前期実績 （平成29年12月期）	-	0.00	-	28.00	28.00

#### 配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、将来の持続的な成長に必要な内部留保を確保しつつ、財政状態及び経営成績並びに経営全般を総合的に勘案し、利益配当を行うことを基本方針としております。

上記「2. 平成30年12月期通期連結業績予想の修正（平成30年1月1日～平成30年12月31日）」記載のとおり、業績予想を修正したことから、誠に遺憾ではございますが、平成30年12月期期末配当予想につきましては、無配と修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上